



嘉多山

令和8年2月1日

【発行者】

佐野市立葛生義務教育学校

校長

【生成 AI (人工知能) 技術進歩に触れて】

義務教育学校として開校 3 年目ということもあり、県内・県外（直近では長野県）から本校に視察にいらしていただいています。その際に、学校経営や日々の教育活動について紹介をさせていただくのですが、過日の研修会で生成 AI の話題が上がりましたので、試しにと思い情報教育アドバイザーにお手伝いをいただき学校紹介を生成 AI で作成してみました。皆様に読んでいただいているこの「学校だより」の No.1 ~No.11 とこれまでの視察等で用いた資料などを生成 AI に読み込ませ、「8 分程度の説明用スライドを作成」と指示を出すだけで、待つこと 7 分程度で、『葛生義務教育学校：地域とともに未来を創る、私たちの物語』『学校と地域が力を合わせて子どもを笑顔に』というテーマのスライド資料（14 枚）が作成されました。

今号は、AI が作成した学校紹介を掲載させていただきます。写真も全て AI が作成したものですので、本校の児童生徒や学校行事の写真ではありません。



1

葛生義務教育学校：地域とともに未来を創る、私たちの物語
「学校と地域が力を合わせて子どもを笑顔に」


変化の時代における、私たちの使命

予測困難な社会の変化

- 人工知能 (AI) の技術革新
- 急激な人口減少・高齢化
- グローバル化の進展

時代を超えた、私たちの理念

「郷土を誇り
社会に貢献する意欲と国際的視野を備え
自ら未来を創る人を育てる」



2

成長を止めない。 9年間の一貫した学びのステージ

基礎期 (1~4年生)

「学びの基礎」を築く
基本的な生活習慣・学習習慣の定着を目指す

充実期 (5~7年生)

「主体的追求」を行う
主体性を重視し、思考力・判断力・表現力を育む

発展期 (8~9年生)

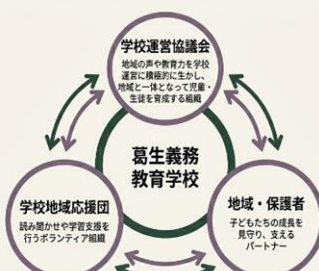
「自己実現に向けた実践力」を養う
自己の生き方や社会の在り方を考え、挑戦する態度を育成する

基礎期 (1~4年生)

基本的な生活習慣・学習習慣の定着を目指す

3

私たちの原動力。「地域とともにある学校づくり」



学校運営協議会
地域の声や教育力を学校運営に積極的に生かし、地域と一体となって児童・生徒を育成する組織

葛生義務教育学校

学校地域応援団
読み聞かせや学習支援を行うボランティア組織

地域・保護者
子どもたちの成長を見守り、支えるパートナー

学校運営協議会のリーダーシップ

令和6年度 委員長：秦 俊一
令和7年度 委員長：須藤 作二

4

地域の目で、子どもたちの安全を守る

課題 (CHALLENGE)	行動 (ACTION)	解決 (RESOLUTION)
 <p>交通指導員の不在により、通学路の安全に懸念が生じていました。</p>	 <p>学校からの相談を受け、第1回学校運営協議会で人材確保を検討しました。</p>	 <p>地域の方の紹介により新たな指導員が決まり、問題が早期に解決しました。</p>

5

ふるさとの想いを、未来へつなぐ



課題 (CHALLENGE):
東門の石畳ロードの安全性について、保護者から懸念の声がありました。

行動 (ACTION):
協議会委員が現地調査を実施し、これが地域の想いが詰まった文化財のような道であることを再認識しました。

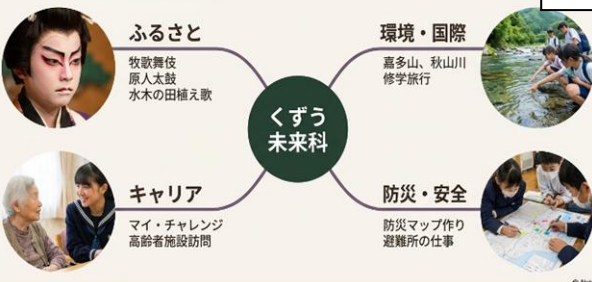
解決 (RESOLUTION):
安全対策のみを優先するのではなく、その文化的価値を尊重。生徒への注意喚起と丁寧な説明で対応することを決定しました。

“これは単なる道路ではない。ふるさとを大切にしたいが込められた、文化財のような道だ。”

6

ここでしか学べない。新教科「くずう未来科」

郷土（ふるさと）葛生を学習教材とし、自分をみがき活躍できる力を育てるための9年間一貫した新教科です。



7

全員で歩む。地域を体感する「ふるさとウォーク」

1年生から9年生までの全校生徒が参加する、学校最大のイベント。学校運営協議会、PTA、地域ボランティアの皆様の協力のもと、ふるさとの道を歩き、その魅力を体感します。



8

立ち止まり、見つめ直す。皆様の声が私たちの道標

保護者の声（主な低下項目）



生徒の課題意識

「いじめを許さないという雰囲気がある」という項目で、肯定的な回答の数値が低下。生徒たちが感じる課題感を真摯に受け止めます。

9

いただいた声を、具体的な行動へ

令和7年度7つの重点項目

1. 児童生徒で考える楽しい学校づくり
2. 学力向上のための環境整備
3. 自己肯定感を高める支援体制の構築
4. 人権教育の強化
5. いじめ防止のためのアンケートや教育相談の充実
6. 自己有用感向上と規範意識の醸成
7. 地域とともにある学校づくり

10

「小学校+中学校」から、真の「義務教育学校」へ



11

変化を力に。未来の教育を見据えて

次期学習指導要領改訂（2027年頃）を見据え、未来を生きる子どもたちに必要能力を育みます。



12

あなたの力を、子どもたちの未来へ



子どもたちの成長には、地域の皆様が必要です。ぜひ、私たちの際にご参加ください。

- ふるさとウォークなど学校行事へのボランティア参加
- 制服等を再利用する「葛生義務リユース事業」への協力
- 「学校地域応援団」への参加・支援

ご関心のある方は、お気軽にご連絡ください

学校運営協議会
 ・委員長：須藤 作二
 ・統括地域コーディネーター：廣瀬 恵子 (0283-85-2833)

13



14

想像以上の出来に、とても驚きました。同じようなものをゼロから作成しようとする、どれくらいの時間がかかるのか想像もつかないくらいです。

学校だよりや保護者会等で私からは、AI 技術が急速に進化し続けている、また社会も変化し続けているので、その環境に対応できる力を身に付けさせなければならないと、お伝えしておりますが、今回体験してみて、これからの学校教育に求められるものは、未知の状況に対応し、新しい時代を切り拓いていく力を身に付けさせることであると改めて感じました。今後も、保護者・地域の皆様・学校が力を合わせて「地域とともにある学校づくり」に努めて参りたいと思います。



上の QR コードを読み取っていただければ、作成データを見ることが出来ます